

# 緊急小口資金特例貸付借入申込書

社会福祉法人  
兵庫県社会福祉協議会 会長 殿

## 記入例

申込みに当たり、下記9項目に同意し、生活福祉資金の借入れを申請いたします。

1. 記入した**個人情報**については、本制度に必要な範囲で**第三者に提供すること**に同意します。
2. 貴社会福祉協議会が、貸付に必要な範囲で、全国社会福祉協議会、他の都道府県社会福祉協議会、自治体等の**関係機関に照会し、私の個人情報の提供を受けること**に同意します。
3. 私は現在、**生活保護**を受給していません。
4. 私は現在、**自己破産**の手続きを行っていません。
5. 本貸付**1つでも該当しないもの**がなければ、貸付の対象とはなりません。
6. **私**が該当しないものはなりません。
7. **私**が該当しないものはなりません。
8. 私は、**真協議会が必要に心ひきかかっています**。〔暴力団とは、「暴力団員による不当な団体の構成員（その団体の構成団体の構成団体）を指します。〕
9. 貸付審査の結果、貸付不承認となった場合は、**返付**させていただきます。

下に該当する世帯員がいる場合は、「特記事項」のいづれかに「○」を付けてください。  
**ア** 世帯員の中に新型コロナウイルス感染症の罹患者等がいるとき。  
**イ** 世帯員に要介護者がいるとき。  
**ウ** 世帯員にウ又はエの子の世話をを行うことが必要となった労働者がいるとき。  
**エ** 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、臨時休業した学校等に通う子。  
**オ** 風邪症状など新型コロナウイルスに感染したおそれのある、小学校等に通う子。  
**カ** 世帯員の中に個人事業主等がいること等のため、収入減少により生活に要する費用が不足するとき。

上記9項目に相違ありません 氏名 **厚労 一郎**

- 太枠内を黒ボールペンで記入ください。
- 必ず自筆で署名・記入してください。
- 訂正は二重線 (〇〇) を引き余白に記入願います。

記入年月日 令和 4年 4月 1日

申込金額 **20 万円** 据置期間 令和5年12月末まで 償還期間 **ア** 24か月 (24か月以内)  月賦  一括

最大20万円までの借入希望金額を記入ください。  
 氏名 厚労 一郎 (印) 性別  男  女 生年月日 大正 53年 9月 3日 (昭和 43 歳)  
 希望がない場合は、月賦をチェックください。  
 「償還期間」とは返済する期間です。希望がない場合はア. を選択ください。  
 会社員の方は勤務先名称・住所、個人事業主の方は職業・住所を記入ください。  
 勤務先名称または職業 飲食 住所 協市平等区5-3 電話 000(0000)0000

借入申込者の世帯状況	氏名		年齢	性別	生年月日	職業・学校名	特記事項(感染罹患者、要介護者、学校休校等)
	本人	家族					
1	厚労 一郎	本人	42	男	大正 53年 9月 3日	パート勤務	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
2	厚労 桃子	夫・妻・子・父・母・その他	42	女	大正 54年 5月 23日	パート勤務	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
3	厚労 こころ	夫・妻・子・父・母・その他	14	女	大正 20年 3月 2日	★★中学校	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
4	厚労 花	夫・妻・子・父・母・その他	11	女	大正 22年 4月 19日	★★小学校	ア.罹患者等 イ.要介護者 ウ.学校休校の子の世話 エ.感染の恐れある子の世話 オ.個人事業主
その他 2名							

口座振込の場合  金融機関 ひふみ 銀行 支店名 預金種別  普通  当座  
 借入申込書名義の口座番号を記入ください。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減り申込金額が10万を超える場合は☑を記入ください。

借入理由 ※感染拡大等による影響の内容を記入  新型コロナウイルス感染拡大の影響で収入が減り  今後10万円を超える資金需要があるため  
 本特例貸付の利用実績:  ア. 初めて借りる場合  イ. 借入済みで返済済みの場合  ウ. 借入済みで返済中  
 本特例貸付の利用実績:  ア. 初めて借りる場合は「ア」に、上限額以内で一度借りており、残りの額を改めて借りる場合は「イ」に☑を記入ください。  
 外国籍の方で在留期間が1年以内の方:  在留期間が延長の予定がある場合は、☑を記入ください。